

病院の実力「首の病気」
医療機関別2019年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名

医療機関名	手術人数				
	頸椎性脊髄症	頸椎後縦靱帯骨化症	頸椎椎間板ヘルニア(脊髄症)	頸椎椎間板ヘルニア(脊髄症)	頸椎神経根症
富山					
高岡整志会	72	54	0	14	3
富山大	37	17	9	1	4
済生会高岡	32	3	10	7	1
西能	17	4	8	1	3
市立砺波総合	14	2	0	2	2
済生会富山	7	0	0	2	—
厚生連高岡	7	1	0	0	—
黒部市民	5	1	0	1	2
富山赤十字	0	3	1	3	1
石川					
金沢脳神経外科	22	7	1	24	1
藤田整形外科ク	0	0	0	0	1
新潟					
新潟中央	93※	10※	47※	103※	3
富永草野	73	8	6※	10※	1
新潟市民	38	9	4	5	4
長岡中央総合	31	5	5	15	1
新潟脳外科	10	3	5	0	1

「ク」はクリニック、「—」は無回答または不明。
※手術件数の重複あり
#頸椎性脊髄症との重複あり

全国の調査結果は16日の「安心の設計面」に掲載しました。

病院の 実力

～富山編 151

手術適応 専門医受診を

首の病気

今月と来月は脊椎脊髄の病気を取り上げる。今回は「首の病気」で、脊椎脊髄専門医のいる医療機関の2019年の手術実績などを掲載した。

頸部の脊椎(頸椎)は、7個の椎骨と、その間でクッションの役割を果たす椎間板でできて

いる。

脊椎の中には、脳からつながる中枢神経(脊髄)が通っている。ここから枝分かれした神経を「神経根」と呼ぶ。首の病気は、椎間板の老化など様々な原因で脊髄や神経根が圧迫されるもので、起きる場所により「脊髄症」「神経根症」に分かれる。

「脊髄症」で最も多い「頸椎性脊髄症」は50歳以降の男性に多く発症する。手の痛みや、洋服のボタンがかけづらいなどの運動障害が見られ、症状が進むと下肢にもしびれが及ぶ。進行性の場合は早めに手術をして、骨の一部を取り除くなどの

手術が必要だ。

「頸椎後縦靱帯骨化症」は、頸椎の背中側にある後縦靱帯が骨のように厚く硬くなり脊髄を圧迫する。鎮痛薬の投与や運動療法のほか、悪化が想定されれば手術も検討する。椎間板の組織が壊れて中身が飛び出す「頸椎椎間板ヘルニア」は、30〜40歳代の発症が多い。

「神経根症」の場合は、脊髄症と異なり、安静にすることで症状が改善することが期待できる。専門医のいる医療機関での受診が望ましい。